

イベントのお知らせ

小金井市議会主催 議会報告会
“新型コロナウイルス感染症対策について”

8月21日(金) 午後7時～9時
@小金井 宮地楽器ホール小ホール

感染症対策のため、人数制限とマスク着用&検温をお願いします。
定員：40人(申込順) * 手話通訳、保育あり
申込：議会事務局 TEL：042-387-9947 FAX：042-387-1225
Mail：g020199@koganei-shi.jp

小金井の今とこれからについて話そう
坂井えつ子の議会報告&意見交換会 vol.27

8月30日(日) 午後2時～4時
@スペースこっこ

リアル参加

→スペースこっこ
(本町2-19-6 1-105)
にお越しください。

オンライン参加

→坂井までご連絡ください。
Zoomのアドレスをお知らせします。

オンライン
&リアル開催



ひとことニュース：7月の議員報酬を20%削減。議員の提案で、「コロナ基金条例」が制定されました。

<坂井えつ子プロフィール>

●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中小金井北高、日本大学法学部卒業 ●日本福祉教育専門学校入学 ●2015年市議補選で初当選 ●2017年再選。厚生文教委員、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員、議会運営委員、広報協議会委員 ●湖南衛生組合議員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会 第3委員会(道路)、小金井市土地開発公社評議員 ●自治体議員政策情報センター「虹とみどり」、反原発自治体議員・市民連盟、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク、市民自治こがねいなどに参加

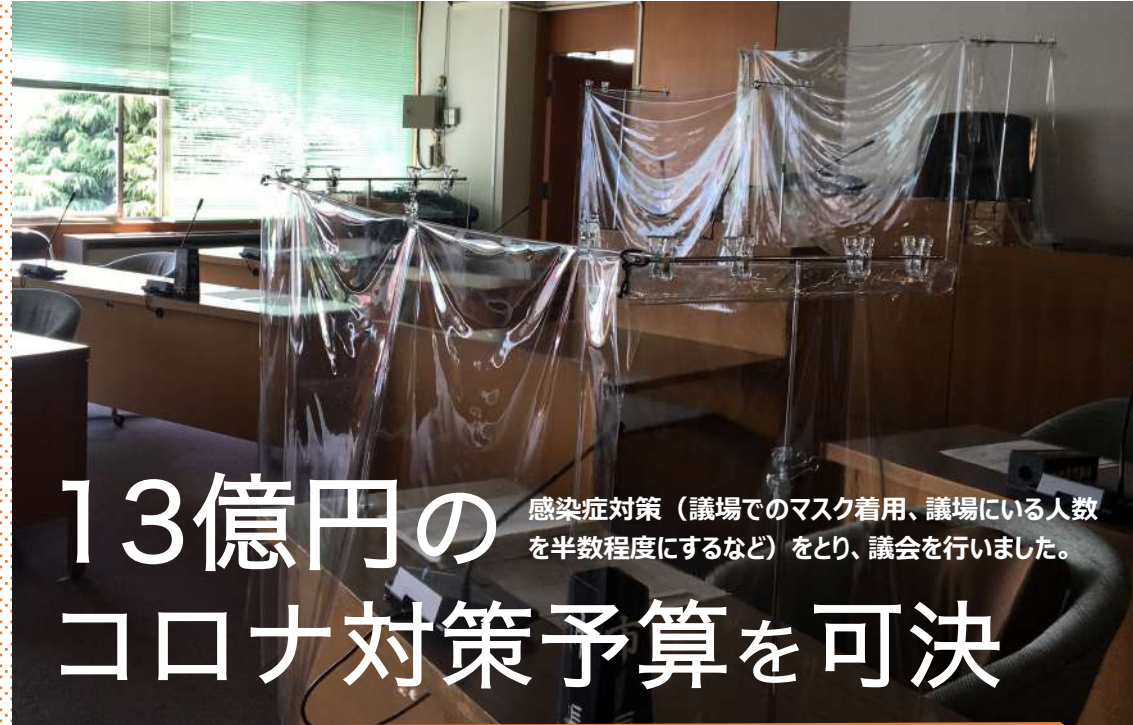
連絡先

本町2-19-6 J-ポ° 美映1-105
TEL：090-1796-7652
Mail：info@sakaietsuko.com



坂井えつ子

検索



13億円の コロナ対策予算を可決

感染症対策（議場でのマスク着用、議場にいる人数を半数程度にするなど）をとり、議会を行いました。

新型コロナウイルス対策の予算を可決。はげと野川を壊す道路計画について、東京都に意見書を提出。詳しくは中面で。

坂井が行った

“コロナお困りごとアンケート”市の施策を後押し

坂井が、4月中旬から5月末にかけて、行なったアンケートでは、ハガキとWEBで55件の回答をいただき、市への要望に活かしてきました。妊産婦への支援不足という声を市政に届けると、市HPに両親学級の動画公開&育児支援パッケージが予算化など、市政を動かすキッカケになりました。

アンケート概要は
坂井公式ブログで



アンケートで一番多かったのは、「感染の不安」で7割でした。

→不安に思う場合は、

新型コロナコールセンター 0570-550571
(9～22時 土日休日含む)

→症状がある場合は、かかりつけ医か

多摩府中保健所 042-362-2334
(9～17時 平日) へ連絡を。



コロナ対策の補正予算(案)は13億 国・都の補助金活用&市の独自施策を

市の緊急対応方針にもとづく補正予算を可決しました。国や都の補助金&小金井市の貯金(財政調整基金)を2億2千万円使い、残りの貯金はおよそ29億円。*千単位を四捨五入

いのちを守る 3,525万円

- 集団検診の個別化 **1,410万円**
- PCRセンター支援 **1,094万円**
- 医療・福祉施設にマスク等を配布 **629万円**
- 都知事選の期日前投票所開設日数増など **131万円**
- …ほか

市民サービスの基盤を守る 2,877万円

- 市民交流センター等の休館期間の損失補填 **2,644万円**
- 市役所での感染防止策 **233万円**



くらしを守る 9億3,897万円

- 前年売上15%以上ダウン、賃貸物件で事業をしている等の要件を満たす中小企業や個人事業主などに、20万円給付 **2億5,161万円**
- 障害福祉、介護事業所に運営補助20万円(居宅介護、介護予防支援事業所は5万円)職員に5千円分のギフトカード等 **5,846万円**
- 市立小中学校に一人1台パソコンなど **7億3,667万円**
- コロナの影響による家賃補助(住居確保給付金)の要件緩和 **8,965万円**
- ひとり親世帯に5万円支給 **4,921万円**
- 子育て世帯支援(児童扶養手当受給者に給付金、妊産婦支援) **4,465万円**
- 登園・登所自粛分の保育料や学童保育育成料を日割りで還付 **983万円**
- …ほか

- ▶ 福祉事業所への支援など、要望してきた項目がいくつか予算化されました。
- ▶ 国が推進しているGIGAスクール構想で、市立学校に一人に1台パソコンが導入。ついていけない子どもや教員のフォローが必要です。そもそもは、増える一方の学習指導要領を見直し、教員配置を増やす方が良いと思います。
- ▶ 国・都の補助金活用し、支援の行き届かないところは、市の財源で対応を。困窮する学生や、仕事が激減している文化・芸術分野などへの支援が必要!

はけと野川を 壊す道路計画

事業化の見直しを求める意見書、可決

市が3月頃に行った市民3000人アンケート結果をみると、**道路の必要性よりも自然や景観保護が優先と考える市民が多い**ことがわかりました。



アンケートの詳細と分析をブログに掲載

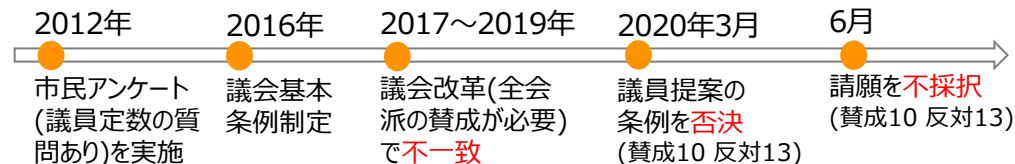


市長は5月27日、“私、小金井市長が了承できない状況下での事業化は進めないように求めます”と、東京都に要望書を提出しています。市議会は、「今年度の関連事務の停止と、長期的視点で事業化の見直しを求める意見書」を賛成多数で可決しました。



議員定数削減にNO！ 条例にそって市民の意見を聞こう

“報酬の話は別として、議員定数を2削減し他市並みの22人にしよう。市民サービスの財源を確保すべき”という提案に、坂井も議会も、**3回連続**で反対し続けています。



議会基本条例には、議員定数の改正に当たっては、市政の現状及び課題を十分に考慮し、市民の意見を聴取した上で定めるものとする。とあります。

市議会は、市長部局と対等な関係にあります。税金の使い方が適切かなど市政を監視し、多様な市民の意見を市政に届ける役目を担っています。

民主主義に関わる経費は議会の責任として確保すべき。どうしても財源が必要なら、報酬削減の検討を。議会基本条例にそって市民の意見を聞こう！と提案しましたが、不一致でした。市民意見の聴取は必須!

